

1 家庭学習の目標

(1) 家庭学習は、自分の学習のしかたを身に付け、自分から進んで取り組みます。

(しゅたいてき ていちゃくか)
【主体的な学習の定着化】

(2) 家庭学習は、授業とつながっている学習です。また、授業の大切なところをわかりやすくまとめる学習です。

(きそ)
【基礎学力の定着】

毎日 → 『宿題 + 5 分間復習 + 自主学習 + 1 分間予習』

授業 ⇒ 復習・予習 ⇒ 授業 ⇒ 復習・予習…のくり返し

(3) 家庭学習は、今日の授業でわかったところやわからないところはどこなのかを自分で見つけて自分で目標と計画を立てて取り組む、くり返しの学習です。【自己マネジメント力の育成】

2 学習時間のめやす

中学年の家庭学習のめやすは『学年×10+10分』= 3年生→40分 4年生→50分です。

3 家庭学習の取り組み方

(1) 家庭学習のなかみと流れ 家庭学習 = 宿題 + 5分間復習 + 自主学習 + 1分間予習

- まず、「宿題」に取り組みましょう。
- 次に、「5分間復習」と「自主学習」に取り組みましょう。
- 最後に、「1分間予習」に取り組みましょう。

(2) 5分間復習と自主学習のしかた

5分間復習	自主学習
1 今日学習したところの教科書のページを開きましょう。	1 自主学習ノートを開く。
2 学習したところの教科書を音読して、内容をふり返りましょう。	2 学習で大切なことを整理し、まとめる。
3 学習の大切だと思うところやまとめに線を引いたりその文章を視写したりして、授業の時の自分の考えを見直しましょう。	3 教科書の問題で、特に、自分がよく分かっていなかった問題やまちがった問題にチャレンジする。
	4 まちがった原因が何かを考え、次に同じような問題が出たときにまちがわないようにする。
	* メニューを参考にして、他の学習にも取り組んでみてもいいですね。

(3) 1分予習について

- ① 教科書を開き、次の学習の部分を読みましょう。
- ② 新しく学習することや、問題や解決しなければならないことは何か、を考えましょう。
- ③ 大切な言葉やまとめの文に、線を引きましょう。

4 自主学習のメニュー

★ 教科書・ドリルの問題をそのまま写して解いたり、練習したりする。

- 教科書の問題で自分がよく分からなかった問題やまちがった問題をときながら、学習で大切なことを整理し、まとめる。
→「5 自主学習ノートの例」の①を見てみましょう！

★★ 習ったことを使って、くり返し練習する。

〈国語〉

- わからない言葉の意味しらべと短文作り
→「5自主学習ノートの例」②を見てみましょう！
- 学習した漢字を使った短文作り
- 教科書の視写
→「5自主学習ノートの例」③を見てみましょう！
- ローマ字の練習
- テストのまちがい直し

〈算数〉

- 教科書の巻末問題や文章問題の自作にチャレンジ
- テストのまちがい直し
- 100マス計算

★★★ 自分なりに考えたことをまとめたり、調べたりする。

- 同じ読みの漢字しらべ
- 同じ部首ぶしゅの漢字しらべ
- 作文（自分の考え、しょうかいなど）
- ニュースや新聞の感そうのまとめ
- 俳句（はいく）・短歌（たんか）作り
- 日記
- 読書（読んだページと感そうも書く）
- ことわざ、慣用句かんようくしらべ
- 理科のもっと知りたいと思ったことのしらべ学習
 - ・ 星座 昆虫 植物など
- 社会のもっと知りたいことのしらべ学習
 - ・ 都道府県と県庁所在地
 - ・ 国旗
 - ・ 日本地図帳（川、山脈、海流、名産品など）
 - ・ 歴史上の人物
- 料理と調理（体によいこんだて、えいようそ栄養素など）
- 音ぷや記号しらべ
- 今学習している曲や歌へのドレミつけ
- なわとびなどいろいろな運動にチャレンジ
- 筋力トレーニング（どんなことを何回したか記入）

5 自主学習ノートの例

小・中・3

<3年 算数科・自主学習例①>★★

○月△日（ ） 教科書P18

- ㊦ 3つの数のかけ算は、どうしたらできるかな？
 ㊧ 前からじゅんにかけても、後ろの2つを先にかけても、
 答えは同じになる。

けっごう
 結合 のきまり → 結びついて1つになること。

教科書や授業のノートを見て、
 正かくに書き写します。

わからない言葉は辞書で調べます。

㊱ ① $10 \times 3 \times 4$

$$\begin{array}{r} 10 \times 3 \times 4 = 120 \\ 30 \end{array}$$

$$10 \times (3 \times 4) = 120$$

12

② $2 \times 3 \times 4$

$$\begin{array}{r} 2 \times 3 \times 4 = 24 \\ 6 \end{array}$$

$$2 \times (3 \times 4) = 24$$

12

授業でやった問題をもう一度とき直して、さらに理解を深めよう。

- ㊲ 数が3つになっても、計算しやすいところからじゅん番にやれば、間違えないで答えを出せる
 ことが分かった。
 ㊳ 1番目と3番目の数字を先にかけて、あとから2番目の数字をかけると、どうなるのかな？

<3年 国語科・自主学習例②>★★

○月△日（ ） 教科書△▽ページ

- ㊦ 「ありの行列」で学習した漢字や言葉の意味調べをしよう

★ 新しく学習した漢字や言葉 ★

- 行列（ぎょうれつ）

【意味】 じゅんじょよく列を作ってならぶこと。

【使い方】 父のラーメン屋には、昼になると行列ができる。

- 実験（じっけん）

【意味】 結果がどうなるかを知るために、じっさいにためすこと。

【使い方】 しお水とさとう水がこおるかどうかを実験する。

- 研究（けんきゅう）

【意味】 ものごとを広く調べ、深く考えて本当のすがたをくわしく
 知ろうとすること。

【使い方】 姉は、夏休みに、植物の研究をした。

- 道すじ（みちすじ）

【意味】 通り道。ものごとのすじみち。

【使い方】 駅へ行く道すじをたどると交番がある。

- 外れる（はずれる）

【意味】 はまっていたものが、とれてはなれる。

ねらいどおりにいかない。正しいことからそれる

あるはんいから外に出る。

【使い方】 まとをねらったが、外れた。

- ㊦ 意味調べをすると、初めに読んだときよりも、書かれていることが
 よくわかるようになった。

短い文を作ると、その言葉をもっと使えるようになるよ。

国語じてんを使って
 調べてみよう。

○月△日

15:00~16:00

④ 苦手な漢字を練習しよう。★

木 ^き 子 ^こ	印 ^{しるし}	席 ^{せき}	友 ^{とも}	機 ^き
木 ^き 女 ^め と 似 ^に て い る ^い	即 ^つ		達 ^{たち}	械 ^{かい}
李 ^り 節 ^{せつ} が 変 ^か わ る ^る	李 ^り 節 ^{せつ} が 変 ^か わ る ^る	印 ^{しるし} を つ け る	席 ^{せき} が え を す る	友 ^{とも} 達 ^{たち} と あ そ ぶ
機 ^き 械 ^{かい} を 動 ^{うご} か す	機 ^き 械 ^{かい} を 動 ^{うご} か す			

⑤ 部首の形をよく見て書くことができた。

漢字テストでまちがわれないように気をつけたい。

○月△日

15:00~16:00 ④わり算の筆算を正しくしよう。★

④ P. 105 ステップアップ

$$\begin{array}{r} 20 \\ 12 \overline{) 248} \\ \underline{24} \\ 8 \end{array}$$

たてる

↓

かける

↓

ひく

↓

おろす

たしかめ

$$\underline{12 \times 20} + 8 = 248$$

240

× 七

$$\begin{array}{r} 12 \\ \times 20 \\ \hline 00 \\ 24 \\ \hline 240 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 85 \\ 6 \overline{) 512} \\ \underline{48} \\ 32 \\ \underline{30} \\ 2 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 85 \\ \times 6 \\ \hline 510 \end{array}$$

$$\textcircled{1} \quad \underline{85 \times 6} + 2 = 512$$

510

⑤ 正しく計算するために
たしかめをした。

○月△日

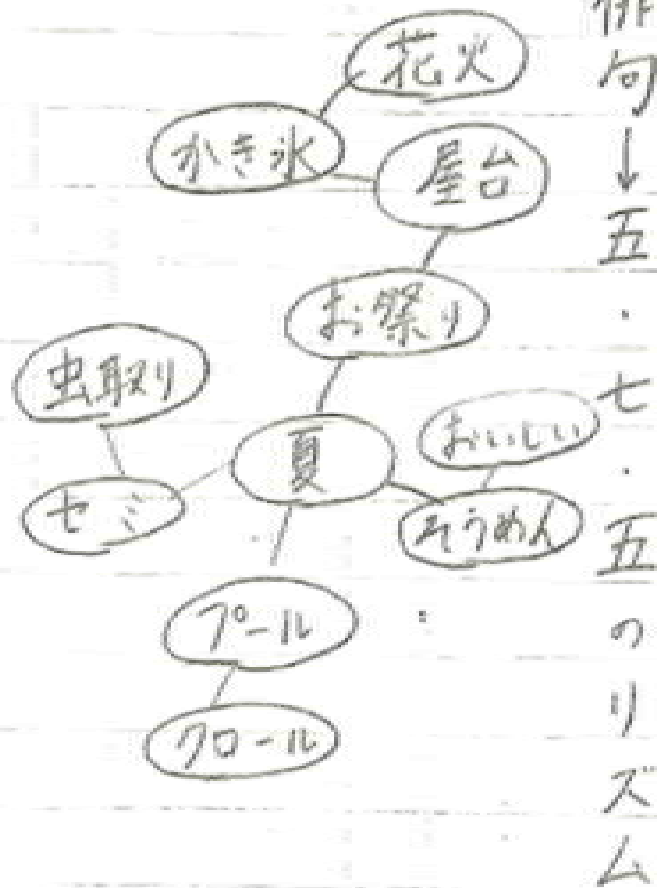
15:00~16:00

④ どうすれば季節の俳句を作れるかな?★★

③ ② ① ④

作 色 さ
あ ー
勝 ー
負 み
頭 り
か 流
き パ
ン と
お 光
い っ
て ー
だ
い 空
な に
散 取
る る
!!

夏の言葉



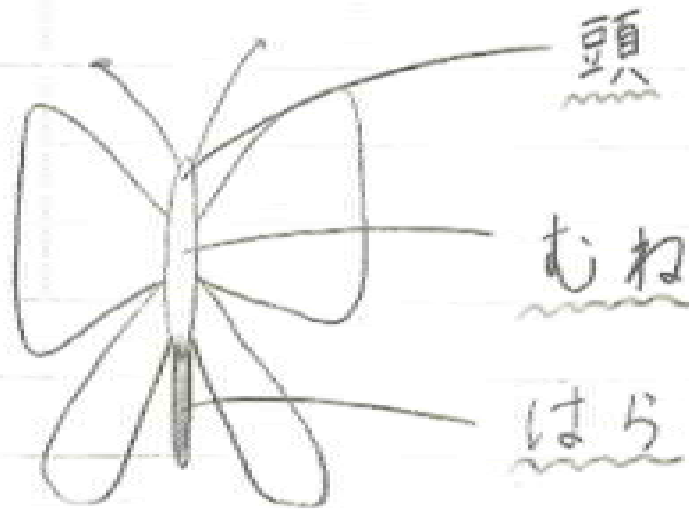
俳句 ↓ 五
七
五
のリ
ズム

⑤ イメージマップを使うと、作れた。

〇月△日

15:00~16:00

④こん虫の体のつくりを調べよう。★★★



あしは、6本
はねは、4まい

むねのところに
ついている!!

◎こん虫

カブトムシ
セミ
トンボ

からだは、
頭、むね、はらで
できている。
あしは、6本。

⑤こん虫の体のつくりは、どれも
同じであることが分かった。